

WL電線(製品名 EM-TNC)の改良

昭和電線ケーブルシステム株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:大橋省吾)は、通称WL電線と呼ばれる環境配慮型耐燃架橋ポリエチレン絶縁電線(当社製品名:EM-TNC)の導体サイズ3.5mm²以下について導体上のセパレータを無くす改良を行い、絶縁体を剥がす際の作業性を向上させました。

EM-TNCは、盤内配線や、電気機器配線、鉄道車両などに使われ、従来タイプは端末加工時にセパレータが残ってしまうことがありました。今回、特殊導体を採用することでセパレータを無くし、作業性を向上させた導体サイズ3.5mm²以下のEM-TNCの販売を開始しました。

■ 製品の特長

□絶縁体被覆の剥取作業性向上(導体サイズ 3.5mm² 以下)

導体上のセパレータを無くすことで、絶縁体被覆の剥取作業性の向上を実現

□電線規格

日本鉄道車輛工業会規格(JRIS J 1041)に適合。鉄道車両向けにも使用が可能

・600V(HF-WL1)、1500V(HF-WL2)の2種類をラインナップ

600V、1500V クラスに対応することで、様々な盤内の配線に使用可能

・絶縁体許容温度

絶縁体の許容温度が110°Cで、60°CのIV電線より高い許容電流を確保

・可とう性

柔軟性の高い絶縁体と細径軟銅撚線を集合した導体の構造により最小曲げ半径4DでIV電線の最小曲げ半径8Dに比べて可とう性が高い

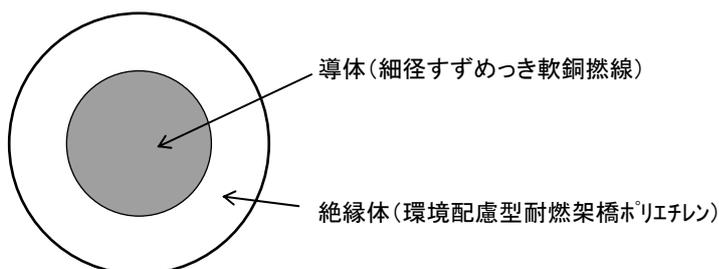
・環境対応

環境に配慮した被覆材料を使用することで、ハロゲンフリーであり、RoHS 指令も対応

特性一覧表

絶縁体被覆の剥取作業性	良好
絶縁体許容温度	110°C
可とう性	最小曲げ半径:4D
環境対応	RoHS 指令対応 ハロゲンフリー

■ 製品(導体サイズ 3.5mm² 以下)の構造



製品写真

本件に関するお問い合わせ先

昭和電線ホールディングス株式会社 経営企画部 IR・広報グループ TEL 03-5404-6951